

# かほくがた

Vol.7 No.1



## 炭焼き体験について

日本海沿岸砂丘地帯の防風ニセアカシア林帯（内灘町）の間伐材を利用して炭作りをしました。バーベキューに使うととてもいい炭が出来ました。



3月18日 ニセアカシア林(内灘町防風林)の間伐材収集



3月20日 窯に木を並べる作業



3月31日  
窯からできあがった炭を取り出し箱詰め作業

### 《 作業工程 》

間伐材の収集 トラックに乗せ運搬 トラックから降ろす 窯に木を並べる 火を入れる 炭になるまでの世話 窯から炭を出す 運搬 利用

### 《 作業日記 》

3月18日(日)

午前9時に集合しニセアカシアの林(内灘町)での木材収集作業をしました。木の重さが身にしみる・・・。トラックで3回木を安津見町まで運搬しました。なるべく重くて太い木がよい炭になるのですが運ぶ作業が大変です。

3月20日(日)

炭焼き小屋へつくと既に木は切りそろえていたでいていました。窯の入り口はとても小さく重い木を投げ入れるのは重労働でした。それよりも窯の中に入って木を並べる作業をした3人は投げ入れた木に

よって巻き上がるほこりで体じゅう真っ黒!! 窯いっぱい木を並べ、入り口を土を練って補強し炭に点火しました。窯を温めるのに数日かかります。火の加減は熟練の職人技で今回は谷内さんをお願いしました。炭になるまで2週間待ちます。

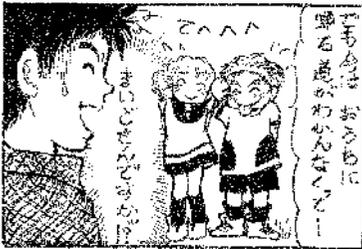
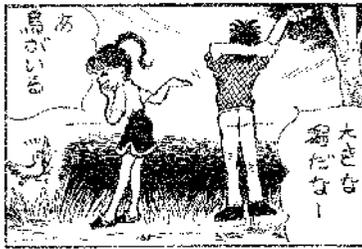
3月31日(土)

窯の中から出てきた炭です。想像より立派な炭が出来上がりました。これを一定の長さに切りそろえ、箱に詰めます。細かい粉炭は袋に入れます。隊長さんの顔は炭で真っ黒になってしまいました!! お疲れ様です。やってみないと分からない大変な作業でしたが天候にも恵まれ楽しい作業となりました。

できあがった炭は水質浄化や土壌改良に利用したり、その他の使い方の新案もアイディアを募集中です。

報告 大館薫子

カヨシキリ オオヨシキリ なほくがた ナルドレツ

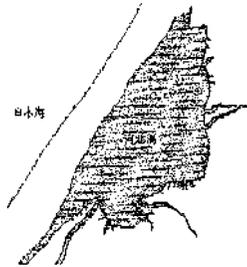


河北潟は、金沢市の北方約6kmに位置する県内最大の潟湖です。

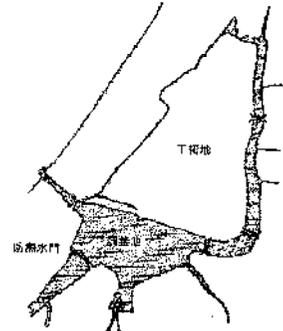
潟湖は、東北地方から山陰地方に至る日本海側に多くみられます。いまから約1万年前の海進により海辺の平野部が水没し、その後潮流によって北方から砂丘が形成され、大きな入り江のような状態となりました。

河北潟には浅野側、森下川、津幡川、金腐川、能瀬川、宇ノ気川の6つの河川が流入し、大野川によって海へ流出していました。干拓事業やほ場整備が進行する以前は、集落と潟、集落と農地を結ぶ舟入川(水路)が張り巡り、広大な水郷地帯でした。

1963年に食糧増産を目的とした国営河北潟干拓建設事業が開始され、その後の防潮水門の建設により、海水の流入は止まり、しだいに淡水湖となりました。

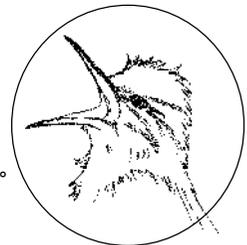


干拓以前の水域面積は約2248ha。干拓地の面積は約1359ha。



夏の到来をつげる オオヨシキリ

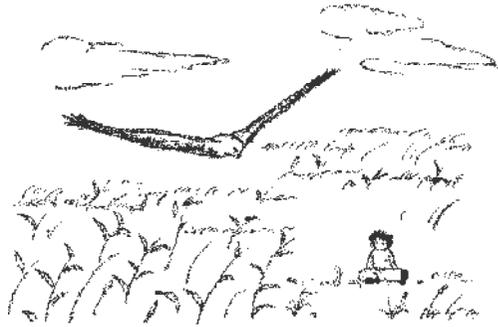
風に仰がれるヨシの先端にとまって、キヨシヨシ・キヨシヨシ・キヨシヨシ・と、4月終わり頃から、青々と繁りはじめたヨシ原で鳴き声が聞かれるようになります。沖縄より南のほうから渡ってきて、ヨシ原で求愛、産卵、子育てをおこなう夏鳥。他の雄に占領される前に、雌を迎え入れることができるように、雄は夏いちばんに渡って来るそうです。日が沈み暗くなった後も、懸命な力強い鳴き声が聞かれます。ヨシ原を生息環境とするオオヨシキリは、3～5本のヨシの茎の間にカップ状の巣をかけます。ヨシは、泥地や湿地、河川などを適した生育環境としている植物で、河北潟では休耕地や水辺など放置された場所で群生地がみられます。河北潟の湖岸植生帯は、現在ヨシとヒメガマで形成されており、そのような抽水植物帯は生き物たちの格好な棲み場所となっています。





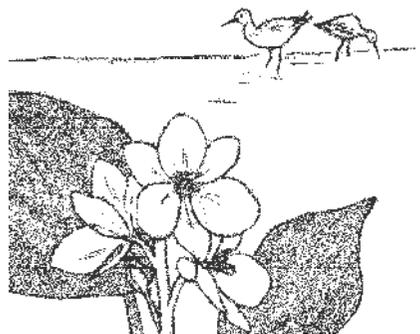
河北潟に立つ君へ  
徳沢 愛子

黄色のスカーフを敷いた菜の花畑 つんつくチューリップ畑  
あの華やぎをあなたは知っていますか  
枯れ細った見すばらしいヨシ原が  
ある日突如 風景を緑に塗りつぶす  
力漲るあの季節を知っていますか  
大地を流れるハーブの香りをもう嗅ぎましたか  
オオヨシキリが喉ふくらませりしく夏を呼ぶ  
あの命溢れる声を聴いたことがありますか  
大輪のひまわりたちの夏の歌と  
牛たちの鼻歌を共にハミングしたことがありますか  
測り得ない高さの蒼穹を滑空するチュウヒの  
あの野ねずみを狙う鋭い眼光を見たことがありますか  
冬の水面に冴えざえとした影を映す古人の干拓魂  
そのひそやかな呟きを感じたことがありますか



才田大橋から眺める夕焼け  
あの泣きたいような生きてある一瞬を  
赤鬼になって立ち尽くしたことがありますか  
我らが子孫に河北潟の恵みを知らせ 聞かせ  
匂わせ 感じさせ その楽しさを  
分かち合いたいと思いませんか  
世界の同朋や 地球の生き物たちと連帯する  
そのぬくもりを分かち合いたいと思いませんか  
枯れハス田を残しておいて下さい  
シギたちは貴婦人のように餌を拾います  
春一気に穂を出す麦畑の空に  
小鳥たちを囁らせて下さい  
カイツブリも涼しい葉ずれのする浮巢で  
愛の営みをせねばなりません  
ヨシゴイはヨシゴイで顎を伸ばし嘴を直立させ  
雄々しくひなたちを守らねばなりません

カモが番いでヨシからぬっと出て 水面をキラキラさせ一列縦隊でどこかへ  
ヨウホネ、アサザ、ミズアオイたちは 共振れて朝の光を弾きます  
中洲から冬のお客ヘラサギが白い魂のように天空へ飛び立ちます  
清らかなものは美しい水質から生まれます  
母になりたい雌ギツネも養ってあげて下さい  
国際ラインを越えてやってきたブラックバス  
セイタカアワダチソウ ウシガエル アメリカザリガニには  
フェンスの網の目を細かくして 我らが在来種を守らねばなりません  
潟の釣り用栈橋で 顔に水面の光を揺らめかせる  
ヘラブナ釣りの人に明るい声をかけたいのです  
残雪のマガンたちの羽ばたきで いのちの風は巻き起こります



河北潟に立つ君よ さあ 首をまわし  
広大な地をゆく力強い風を 真正面に受けて立とう  
人々の 大小の生き物たちの 草花の その声々が四季折々の色合いで  
立ち上がってくるのを共に見守ろうではありませんか

## お知らせ

### < 情報・活動報告 >

#### ニュースレターをリニューアル

今号より通信の名称を親しみやすく「かほくがた」と改めるとともに、編集方針や構成をリニューアルしました。今後は河北潟にまつわるトピックスや河北潟湖沼研究所の活動の紹介とともに、友の会会員やその他の読者の方からの投稿のコーナー、河北潟について学習するコーナー、漫画のコーナーなどを設けていく予定です。同時にこれまで掲載してきた小論文や研究報告は、機関誌「河北潟総合研究」を充実させることにより掲載していきたいと思えます。

編集及び作成は友の会ボランティアスタッフによりおこないます。これまでより親しみやすい内容として、学校や公共施設に積極的に配布して、河北潟への関心が高まることを望んでいます。たくさんの方の投稿を募集していますのでよろしくお願ひします。

#### 河北潟湖沼研究所研究集会在開催

日頃からの研究委員会や研究会会員の成果を披露しあうとともに、今後の研究方針について話し合うことを目的として河北潟湖沼研究所研究集会在がさる5月12日に約20名の参加のもとおこなわれました。

演題と講演者は以下の通りです。「河北潟と木場潟の水質逆転」沢野伸浩（星稜女子短期大学）、「『河北潟の自然と文化』編纂の重要性」大串龍一（金沢大学名誉教授・河北潟湖沼研究所研究会会長）、「河北潟の湖岸再生」高橋久（河北潟湖沼研究所生物委員会）、「河北潟地方の歴史」宮本真晴（河北潟湖沼研究所歴史委員会）、「河北潟水質浄化施設の活用について」櫻井英二（東洋建設株式会社）、「河北潟湖沼研究所の今後の方向についての私案」松澤照男（北陸先端科学技術大学院大学）。

#### バス釣りグループが野鳥に配慮したルールを策定

河北潟ではヘラブナ釣りやコイ釣りが以前からよくおこなわれてきましたが、最近では、ブ

ラックバスの釣りも盛んにおこなわれています。

ブラックバスの水域生態系への影響や密放流の問題が指摘される中で、河北潟を主な釣り場とするグループであるランカースナイパーズと日本バスクラブ石川支部では、自然環境の保全や野生生物との共生について積極的に取り組む考えでいます。

河北潟湖沼研究所ではこの2つのグループの代表と3月16日に懇談をおこないました。2グループからは、河北潟のブラックバスはそれほど魚食性が強くないこと、生息数も限られていること、魚類や生態系へ深刻な影響をもたらしているのは、護岸やゴミの不法投棄、水質汚染などであるとの考えが示されました。また、私たちの側からは、湖岸をバスボートが行き交うことによって湖岸で繁殖する鳥類への影響が懸念されていることなどを伝えました。2つのグループは、河北潟の希少猛禽類であるチュウヒが繁殖する場所での育雛期の釣りを自粛することを決定しました。今回の決定は、河北潟を常に利用する団体が河北潟の自然環境保全へ取り組んだ先進的な例として注目されます。

#### < 編集後記 >

- 河北潟の上流の川でのこと -

先日、姪が川の土手を犬と散歩していた所、胸がむかつくような異様な臭いの汚物だらけの川の現場を見てしまった。人の汚物なのである。汚物に薬品を混ぜたような臭いがしたと言う。

居たたまれなくて急いでその場を後にして走って帰って来たそうだ。

その近くには病院がある。

後日保健所に連絡したが、はっきりした場所も確かめずに「分かりました」と言われ電話をきった。その後また現場に行ってみたが汚物は見当たらなかった。

あの日だけだったのかどうか分からないが、川の流れはほとんどなく濁んだ水の色をしていた。

水洗便所の始まりは昔昔、西洋で川に丸太等の木を渡し、みんなで並んで用を足したと言う事らしいけれどこの事も水に流してもいいのだろうか。(編集者 m より)

「かほくがた」(題字 大館小夜子)  
VOL. 7 NO. 1 2001年7月15日発行  
発行所 河北潟湖沼研究所友の会  
〒920-0051 金沢市二口町八58  
河北潟湖沼研究所金沢事務局内  
TEL: 076-261-6951 FAX: 076-265-3435